

2021年度大学院授業アンケート結果概要

はじめに

本学大学院（修士課程）における授業アンケートは2005年度から開始されました。

大学院に開講されている全ての授業を対象として、春学期科目、秋学期通年科目ともに12月上旬に行い、その結果については、各研究科委員会に報告されてきました。また、この間、個別科目の回答結果の担当教員への返却、授業アンケート結果等を踏まえた授業改善報告書の作成等、大学院として教育の改善に取り組んできました。

授業アンケート結果については、従来各研究科委員会の中で報告が行われてきましたが、2018年度のアンケートから、学部における授業アンケート結果と同様、IR実施委員会の下で授業アンケート結果の分析を行うこととともに、2019年度から質問項目を一部変更するとともにWebアンケートによる方式に改めました。

各教員が担当する授業のアンケート結果に加えて、大学院全体としての結果を確認することによって、更なる授業改善につなげていく機会にさせていただければと考えています。

実施方法：

演習指導教員を通じて院生に実施を周知。Webアンケートにより実施

実施概要：

	臨床心理学	犯罪心理学	法学	経済・経営学	メディア情報学	計
在籍者数	14名	6名	1名	5名	5名	31名
履修科目数	178科目	68科目	12科目	37科目	40科目	335科目
回答科目数	40科目	20科目	0科目	3科目	25科目	88科目
回答率	22.5%	29.4%	0%	8.1%	62.5%	26.3%

Q1. どの研究科・専攻に所属していますか。

Q2. 何年次生ですか。

全体の回答率は26.3%であり、昨年度の54.4%、一昨年度の63.1%に比べて半数以下になりました。

また、学年ごとの回収率は、1年次生26.2%（76/290）、2年次生26.7%（12/45）であり、学年ごとの回答率はほぼ同じとなりましたが、1.2年次ともに昨年度（1年次生49.7%、2年次生72.1%）、一昨年度（1年次生65.5%、2年次生54.5%）よりも低くなっています。

Q3. 主にどのような理由でこの科目を履修しましたか。

全体では1. 必修だから を選択した層が56.8%（昨年度64.0%、一昨年度35.0%）、4. 知識・技能を広げるため を選択した層が23.9%（昨年度17.1%、一昨年度18.5%）と2肢に回答が集まり、近2年一定の回答数があった2. 研究に必要なだから を選択した層は4.5%（昨年度13.5%、一昨年度25.5%）、3. 将来の進路に役立つから を選択した層は2.3%（昨年度3.6%、一昨年度20.4%）と割合が低くなっ

ています。また、5. 先輩や友達にすすめられたから を選択した層の回答は0%であり、新型コロナウイルス感染症の影響も考えられます。

専攻別では、臨床心理学専攻において、4. 知識・技能を広げるため を選択した層の割合が他専攻よりも低く、1. 必修だから を選択した層以外の回答は分散しています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 必修	70.0%	60.0%	—%	66.7%	32.0%	56.8%
2. 研究必要	7.5%	5.0%	—%	0.0%	0.0%	4.5%
3. 進路に資する	2.5%	5.0%	—%	0.0%	0.0%	2.3%
4. 知識技能	5.0%	30.0%	—%	33.3%	48.0%	23.9%
5. 先輩友達薦め	0.0%	0.0%	—%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 時間割都合	5.0%	0.0%	—%	0.0%	12.0%	5.7%
7. 修得が容易	0.0%	0.0%	—%	0.0%	4.0%	1.1%
8. その他	10.0%	0.0%	—%	0.0%	4.0%	5.7%

Q 4. この科目の履修は、どのようにして決めましたか。決めるのに最も役に立ったものを1つだけ選んでください。

全体では、2. シラバスを読んで を選択した層が 42.0% (昨年度 22.5%、一昨年度 34.4%)、3. 教員の指導 を選択した層が 25.0% (昨年度 29.7%、一昨年度 43.3%) と 6. その他上記以外 を選択した層が 25.0% (昨年度 29.7%、一昨年度 1.3%) と 3 肢に集まり、1. ガイダンスでの説明 を選択した層 6.8% (昨年度 17.1%、一昨年度 15.3%) は割合が低くなりました。

臨床心理学専攻では 2. シラバスを読んで を選択した層が 57.5% (昨年度 14.2%、一昨年度 64.3%)、6. その他上記以外 を選択した層が 27.5% (昨年度 61.2%、一昨年度 0%)、犯罪心理学専攻では、2. シラバス を選択した層が 50.0% (昨年度 80.0%、一昨年度 26.7%)、6. その他上記以外 を選択した層が 45.0% (昨年度 0%、一昨年度 2.2%)、3. 教員の指導 を選択した層が 5.0% (昨年度 15.0%、一昨年度 42.2%) と年により傾向に変化がみられますが、総合政策研究科では指導教員による履修指導やガイダンスという傾向は変わりません。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. ガイダンス	7.5%	0.0%	—%	0.0%	12.0%	6.8%
2. シラバス	57.5%	50.0%	—%	0.0%	16.0%	42.0%
3. 教員の指導	5.0%	5.0%	—%	100.0%	64.0%	25.0%
選択肢 4-5	2.5%	0.0%	—%	0.0%	0.0%	1.1%
6. 上記以外	27.5%	45.0%	—%	0.0%	8.0%	25.0%

Q 5. 授業開始時に示されたシラバスに沿った授業が行われていましたか。

肯定的な回答が 85.2% (昨年度 94.6%、一昨年度 99.4%) であり、近 2 年に比べ、3. どちらともいえない が 11.4% (昨年度 3.6%、一昨年度 0.6%) と割合が高くなっています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. きちんと	30.0%	55.0%	—%	100.0%	96.0%	56.8%
2. ある程度	45.0%	30.0%	—%	0.0%	4.0%	28.4%

3. どちらとも	20.0%	10.0%	—%	0.0%	0.0%	11.4%
4. 5 沿っていない	5.0%	5.0%	—%	0.0%	0.0%	3.4%

Q 6. この科目の到達目標は明確に示されていましたか。

肯定的な回答が 81.8%（昨年度 86.5%、一昨年度 100.0%）を占めましたが、近 2 年なかった否定的な回答も 3.4%ありました。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん明確	30.0%	65.0%	—%	100.0%	80.0%	54.5%
2. かなり明確	45.0%	20.0%	—%	0.0%	8.0%	27.3%
3. 何ともいえない	20.0%	10.0%	—%	0.0%	12.0%	14.8%
4. 5. 不明確	5.0%	5.0%	—%	0.0%	0.0%	3.4%

Q 7. この科目の欠席回数は何回でしたか。

欠席回数 0 回を選択した層が 92.0%（昨年度 83.8%、一昨年度 66.9%）と昨年度以上に割合が高くなっています。回答率低下に伴う回答層の変化（欠席のある者は回答していない）等の要因が考えられます。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 0 回	92.5%	100.0%	—%	66.7%	88.0%	92.0%
2. 1-3 回	7.5%	0.0%	—%	33.3%	12.0%	8.0%
3. 4-7 回	0.0%	0.0%	—%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 5. 8 回以上	0.0%	0.0%	—%	0.0%	0.0%	0.0%

Q 8. 授業時間以外に、この科目のために一週間に平均してどれぐらい勉強しましたか？

新型コロナウイルス感染症前との比較もあり、昨年度、一昨年度の結果も参考に掲載しました。

授業外学習時間については、全体的に選択肢 1. 2 の割合が低くなり、選択肢 3. 5 の割合が高くなったことから、時間数が少なくなったといえます。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 4 時間以上	12.5%	10.0%	—%	66.7%	12.0%	13.6%
2. 4-2 時間	7.5%	40.0%	—%	0.0%	0.0%	12.5%
3. 2-1 時間	27.5%	45.0%	—%	0.0%	40.0%	34.1%
4. 1 時間-30 分	15.0%	5.0%	—%	33.3%	8.0%	11.4%
5. 30 分以下	32.5%	0.0%	—%	0.0%	16.0%	19.3%
6. 0 分	5.0%	0.0%	—%	0.0%	24.0%	9.1%

<参考 昨年度>

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 4 時間以上	6.1%	15.0%	0.0%	56.3%	25.0%	19.8%
2. 4-2 時間	20.4%	5.0%	0.0%	18.8%	33.3%	19.8%
3. 2-1 時間	16.3%	60.0%	0.0%	18.8%	37.5%	29.7%

4. 1時間-30分	22.4%	15.0%	0.0%	6.3%	4.2%	14.4%
5. 30分以下	20.4%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.9%
6. 0分	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%

<参考 一昨年度>

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 4時間以上	25.0%	26.7%	0.0%	13.3%	35.7%	31.8%
2. 4-2時間	3.6%	28.9%	0.0%	33.3%	14.3%	19.1%
3. 2-1時間	32.1%	22.2%	0.0%	16.7%	23.8%	21.7%
4. 1時間-30分	32.1%	20.0%	0.0%	36.7%	23.8%	24.8%
5. 30分以下	7.1%	2.2%	0.0%	0.0%	2.4%	2.5%
6. 0分	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q9. テキストや配布資料などは授業を理解するうえで役に立ちましたか。

テキストや配布資料が役立ったという回答が75.0%（昨年度93.7%、一昨年度97.5%）となり、近2年よりも、3. どちらともいえないが12.5%（昨年度2.7%、一昨年度1.3%）、6. テキストや資料は使われなかったを選択した層が10.2%（昨年度2.7%、一昨年度1.3%）と割合を高めています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん	37.5%	55.0%	—%	100.0%	64.0%	51.1%
2. かなり	32.5%	30.0%	—%	0.0%	8.0%	23.9%
3. どちらとも	15.0%	5.0%	—%	0.0%	16.0%	12.5%
4. あまり	2.5%	5.0%	—%	0.0%	0.0%	2.3%
5. 全く	0.0%	0.0%	—%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 使われなかった	12.5%	5.0%	—%	0.0%	12.0%	10.2%

Q10. 担当教員は意欲的に授業をおこなっていましたか。

教員の意欲を感じたとの回答が90.9%（昨年度96.4%、一昨年度99.4%）で各専攻とも8割以上が肯定的な回答でした。なお、1. たいへん意欲的だったを選択した層は58.0%（昨年度66.7%、一昨年度75.2%）であり、割合が低下傾向にあります。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん	52.5%	30.0%	—%	100.0%	84.0%	58.0%
2. かなり	37.5%	50.0%	—%	0.0%	16.0%	33.0%
3. どちらとも	7.5%	15.0%	—%	0.0%	0.0%	6.8%
選択肢4-5	2.5%	5.0%	—%	0.0%	0.0%	2.3%

Q11. この科目の進みぐあいは適切でしたか。

授業進度について、全体では73.9%（昨年度90.1%、一昨年度79.0%）が適切と回答し、「速い」と感じた回答が21.6%（昨年度6.3%、一昨年度19.1%）と一昨年度に近い回答になっています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
--------	----	----	----	-------	------	---

1. 非常に速かった	2.5%	0.0%	—%	33.3%	40.0%	13.6%
2. かなり速かった	17.5%	0.0%	—%	0.0%	0.0%	8.0%
3. 適切だった	72.5%	100.0%	—%	66.7%	56.0%	73.9%
4. どちらかといえば遅かった	5.0%	0.0%	—%	0.0%	4.0%	3.4%
5. 非常に遅かった	2.5%	0.0%	—%	0.0%	0.0%	1.1%

Q 1 2. この科目が目指している知識や能力や技術が身についてきていると感じましたか。

身についた知識・能力・技術については、80.7%（昨年度 84.7%、一昨年度 98.7%）が肯定的な回答をしています。犯罪心理学専攻については、1. 十分に身についてきている を選択した層が 5.0%（昨年度 65.0%、一昨年度 6.7%）と一昨年度に近い割合になりました。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. 十分に	10.0%	5.0%	—%	100.0%	68.0%	28.4%
2. ある程度	65.0%	80.0%	—%	0.0%	16.0%	52.3%
3. どちらとも	20.0%	10.0%	—%	0.0%	16.0%	15.9%
4. あまり	2.5%	5.0%	—%	0.0%	0.0%	2.3%
5. 全く	2.5%	0.0%	—%	0.0%	0.0%	1.1%

Q 1 3. この科目をうけてあなたの研究（テーマ）への手掛かりを得られましたか。

昨年度と傾向に変化があるため、参考に近2年の内容を掲載します。

昨年度は臨床心理学専攻以外の4専攻で、1. たいへん得られた を選択した層の割合が高くなっていましたが、今年度は、3. どちらともいえない を選択した層の割合が38.6%と最も高くなっています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん	10.0%	5.0%	—%	100.0%	60.0%	26.1%
2. かなり	10.0%	30.0%	—%	0.0%	12.0%	14.8%
3. どちらとも	50.0%	50.0%	—%	0.0%	16.0%	38.6%
4. あまり	30.0%	15.0%	—%	0.0%	0.0%	17.0%
5. 全く	0.0%	0.0%	—%	0.0%	12.0%	3.4%

<参考 昨年度>

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん	12.2%	90.0%	100.0%	81.3%	54.2%	46.8%
2. かなり	30.6%	10.0%	0.0%	18.8%	45.8%	27.9%
3. どちらとも	26.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.7%
4. あまり	30.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.5%
5. 全く	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

<参考 一昨年度>

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん	32.1%	11.1%	100.0%	96.7%	64.3%	52.2%
2. かなり	42.9%	51.1%	0.0%	3.3%	33.3%	31.8%

3. どちらとも	25.0%	33.3%	0.0%	0.0%	2.4%	14.6%
4. あまり	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%
5. 全く	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

Q14. この科目に対するあなたの学修及び研究に対する取組を自己評価してください。

取組自己評価については、81.8%（昨年度 88.3%、一昨年度 99.4%）が肯定的な回答をしています。昨年度同様、臨床心理学専攻については、他の4専攻とやや傾向が異なっています。

選択肢/専攻	臨床	犯罪	法学	経済・経営	メディア	計
1. たいへん	15.0%	60.0%	—%	100.0%	72.0%	44.3%
2. かなり	50.0%	35.0%	—%	0.0%	24.0%	37.5%
3. どちらとも	30.0%	0.0%	—%	0.0%	4.0%	14.8%
4. あまり	2.5%	5.0%	—%	0.0%	0.0%	2.3%
5. 全く	2.5%	0.0%	—%	0.0%	0.0%	1.1%

まとめ

2021年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対応の影響があること、また、今回のアンケートが設問を変更してから3回目に当たることから、コロナ以前の昨年度及びコロナ以降の昨年度回答との比較を中心に分析を試みました。

今回のアンケート結果における最大の課題は回答率の低下であり、用紙配布の2018年度で77.1%（168/218科目）であったものが、Web化初年度の2019年度で63.1%（157/249科目）、コロナ以後の2020年度で54.4%（111/204科目）と徐々に低下し、2021年度は26.3%（88/335科目）まで低下しました。

各設問の回答については、昨年度以前と同様、肯定的な回答の割合が比較的高い傾向は続いています。その割合はやや低下傾向にあり、Q3.科目履修理由、Q8.自習時間、Q13.研究（テーマ）等では、昨年度の回答から傾向の変化が見られました。専攻別では昨年度生じた臨床心理学専攻と他の4専攻との傾向の違いについて、犯罪心理学専攻でも同様な傾向が生じつつあります。

これらの傾向変化が、新型コロナウイルス感染症対応に伴う授業方法等の変更によるものか、回答率の低下によるものかは、他の要素等の照合を要しますが、2022年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響があり得ることから、各専攻のFD等における検討や検証等を要すると考えています。

以上